

今年はやけにミョウガの生きが悪い。秋にミョウガを毎年楽しみにしているが、背丈は今まで見たことがないほどの高さになつてい

# フリー!! 風 (現場)からの

宮田守男

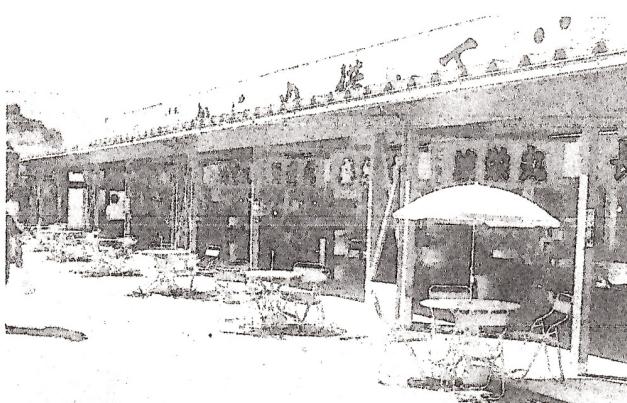
るが、今年はわずかにしか出ない。全国からも7月下旬からの高温、雨不足が影響原因か不作の情報が全国から寄せられている。これも温暖化の影響なのだろうか。

たたちが話すのは「永遠の経済成長」という「おじぎ話だけ」など、注目された。また国連の気候変動に関する政府間パネルが公表した報告書では、地球温暖化が進むと今世紀末まで海面が1㍍以上昇し、世界の氷河は40%以上失われ、生態系に深刻な被害が生じ、高潮や巨大台風による災害リスクが増すと警告した。また今世紀末までに世界全体で、漁獲可能な魚の量は最大24%減少、世界の氷河は最大47%減少、特に、キー産業に大きな打撃

を与えるとの内容だ。  
9月末に気象庁は関東甲信地方の今冬の季報を発表。長野地方気象台によると、北から県内の寒気の南下が弱く、県内は気温が平年並みか高い暖冬傾向、北部山沿いの降雪量は、平年並みか少なく、10月の天気は数日の周期で変わり、11月・12月は平年と同様に晴れの日が多いとの見込み内容だ。今年の夏は、天候の影響を受けて、思うような営業成績が出ず、冬に期待する関係

者が多い事も事実だ。既に多くの観光現場では、冬以外の誘客事業に取り組みを強化している各種取り組みの成果を期待して行きたい。

全国からの魚介類への影響が伝わってくる、サンマの不漁、山口・萩沖のイカの不漁によるイベントの中止が相次いでいる。「海」が無性に気になり日本海の潮風を感じたくて道の駅「マリンドリーハーバー能生」を訪ねた。能生漁港などから水揚げされる鮮度自慢なカニを販売する「かにや横丁」



昔、国道8号沿線に点在した「カニ販売所」、今は道の駅に集約し観光拠点に

や「鮮魚センター」。

肌で感  
あつた

じた機会でも

る楽しみな場所だ。

10

○法人信州地域